


# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載 不要	<p>社会福祉法人松信福祉会</p> <p>理事長 松原正太</p>	<p>●子育て世帯のセーフティーネットの充実</p> <p>沖縄の未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち健やかに生まれ育ち、豊かな可能性を発揮できる社会を実現するため、地域における共働き世帯や一人親世帯等、多様化する子育て世帯のセーフティーネットを整備します。これにより、労働者が安心して働き続ける環境が整備され、沖縄の経済を支える企業等の人材不足解消が期待されます。具体的な取組として、地域の子育て世帯を対象に、特別な理由により家庭での保育が一時的に困難な状況にある幼児を対象に一時的な預かり保育(自主事業)を実施しています。取組実績として、当保育園を卒園し幼稚園へ進級する幼児を対象に4月1日～幼稚園の預かり保育が開始するまでの期間、必要な保育を行い保護者の継続した就労環境を支援します。また、家族の介護や入院等、緊急に保育が必要な場合、利用枠に余裕がある際は(定員・保育士の確保)、期間を定め通常保育時間内での保育を提供します。ニーズがあれば他市町村からの受け入れも検討します。</p> <p>松信福祉会は人と人との繋がりを大切に、個々のライフスタイルに合わせた生き方を尊重します。子どもを取り巻く環境や集団が抱える問題にエンパワメントサポーターとして関わり、法人理念にある“地域の一人ひとりが豊かに自己実現できる環境づくり”を目指します。また、近隣セクターと連携し、子ども・高齢・障害・生活困窮など多岐にわたる課題に早期対応ができるよう総合福祉相談窓口を設置し、ネットワーク構築にも積極的に取り組んでいます。問題の早期発見・対応は子どもの最善の利益の確保に繋がります。今ある社会資源を活用し、多様化する時代背景とともに社会資源を開拓するなどし、沖縄の明るい未来を創造する子どもたちの自己肯定感を育む場の創出と、子育てへの不安を抱く保護者へ寄り添い共に育ち合う環境を創り、両者の自己実現に向け中心的な役割を担います。</p>	 <p>1 貧困をなくそう</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p>